

つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町・若林地域訪問対策本部発 No.28 2011年5月7日

細く、長く、これからも

長町・若林地域訪問対策本部は4月30日（土）に最後とさせていただきました。心残りな気持ちと同時に、引き続き長町病院・若林クリニックと友の会の皆さん方が力を合わせながら行動していくことを願っています。宮城民医連も、他の地域の行動と合わせながら、全日本民医連の支援を受けながら活動を続けていきます。

最後の行動日、4月30日（土）の支援者は4名でした。午前は長町・郡山地区訪問、午後からは若林地区での健康相談会＆支援物資渡しをしていただきました。

この間の取り組みは、長町病院職員による避難所回りや長町病院友の会による、震災直後の病院周辺の地域周り、ブロック役員を中心とした会員の安否確認行動、特に被害の大きかった名取ブロック、袋原・四郎丸地域への重ねての訪問行動。そのための準備に組織担当者の実務も大変でした。特に事務所のあった長町病院附属クリニックが使用不可となったために、場所を近隣のビルの二階に移さざるを得ず、電話・コピーも使用できず、携帯電話で役員と連絡を取りながらの作業となりました。

若林クリニックは、当初流失との情報も流されたりしましたが、「若林健康友の会」の役員自身が被災し、避難所生活をする中で会員の安否確認行動を開始しました。私たちも4月7日（木）より被災地域の訪問活動を開始しました。内容についてはこの間のニュースでお知らせしていますので略しますが、二か月近くたった現在でも、役員さんの軒先には大きな松の木が何本も横たわっている状態です。行動に参加した全国の仲間には必ず東部道路の東側と西側を見てもらい、被害の大きさを知つもらう行動を入れました。地元に戻つてから仲間に支援活動の大切さを訴えてもらうことを重視したためです。



4/30 全国からの支援物資 大好評です！



4/28 若林健康友の会会員訪問行動より



4/7 一回目の若林地区訪問活動
水戸部理事長のあいさつ

長町・若林地域訪問対策本部

■行動の最終到達■ 2011年4月30日（土）

□参加者	4名	累計 693名 (含む引越し作業69名)
□安否確認	20名	累計 4,529名
□訪問件数	20件	累計 4,014件
□避難所	件	累計 17

長町・若林対策本部の記録



当初は患者食を職員のリレーで運ぶ



患者さんの移動も職員の手で



職員への炊き出しが始まりました



毎日朝と夕方に支援者も入り報告と行動の確認



訪問行動へ出かける前のミーティング

3月22日～4月30日まで開設しました。長町病院の周辺地域と若林クリニックの周辺の被災地域、隣接地域の訪問活動を中心に行ってきました。若林区の被災地域では仮設住宅の入居が始まろうとしていますが、これからが本番です。全国の仲間の支援をこれからもよろしくお願ひいたします。



若林地区訪問行動後、クリ職員と



若林地区会員さんの安否確認訪問



若林クリニックでの支援物資配布と健康相談会